

# 富士河口湖町立 教育センターだより

No.19



平成 26 年 3 月 7 日 文責 高尾久美子

## 一年間、ありがとうございました。



たくさんの人に「ありがとう」と伝えたい。そんな一年間でした。センターでの事業に積極的に参加して下さった先生方に、子どもたちのためにと支援して下さった地域の方々や各関係機関の方々に、そして、代替教員として各学校に出向いた時に、温かく迎えて下さった学校職員の方々や子どもたちに、心から言います。「ありがとうございました」と。

3月14日(金)の教育センター運営協議会をもって、今年度の大きな事業が終わります。今年度は、既存の事業の充実発展に加え、数々の新たな事業に取り組むことができました。特に町の保・小・中の連携を深めること。特別支援教育研究会、食物アレルギー研修会の実施。そして、富士山学習の充実・富士山学習全体計画の作成等、先生方の御協力なくしてできない事業ばかりでした。

センターでは、先生方が子どもたちと関わる中でどんな学習が必要か、運営をよりスムーズにするためには、どうしたらいいのかを念頭において様々な事業を進めてきました。これらが、少しでもお役に立てたらと思っています。

また、もうひとつの大きな仕事に、センターで行われている相談事業があります。今年度も悩みを抱えた子どもたちや保護者の方々が訪れました。相談員の先生方は、話を聞き、気持ちに寄り添い、どうしたらいいのかを一緒に考えます。すぐには、悩みの解決は難しいのですが、気持ちがすっきりしたと言って帰られる方々も多くいました。皆様が、少しでも前向きな気持ちで過ごせることを願っています。



これからも富士河口湖町の教育の一所として、その責務を果たしていきたいと思えます。

〈センターを訪れた子どもたちから〉

- 一番の思い出は、クリスマス会です。みんなでホットケーキなどを作りおしゃべりしたのが楽しかったです。
- 中学校の先生が来て教えてくれた理科の実験が忘れられません。電気や振動の実験が楽しかったです。
- センターの先生や友達と初めて歩いて大橋を渡りました。六角堂にも行きました。ごみ拾いのボランティアもしました。いい思い出になりました。
- センターの先生方との会話は楽しいです。特に所長のすべらない話は受けます。( ^o^ )

## 小学校6年生・中学校3年生のみなさん 御卒業おめでとございます。

保護者の皆様に、心からお祝い申し上げます。

「子どもがいたから頑張れた。子どもとともに自分は成長できた。」こんな思いはありませんか。

卒業というのは寂しさとうれしさが混ざり、複雑な気持ちになります。でも、子どもの成長とともに、大人も一緒に成長させられたということも忘れてはなりません。これは、大きな喜びです。これまで立派に我が子を育ててきた保護者の皆様と卒業生の皆様の御多幸と御健康を心からお祈り申し上げます。